



## これ以上の「89.3ダイ改」で団交<sup>13</sup> 増発。要員合理化を許すな

# ストで反撃をうら。

労働条件、Bダイヤ、作業ダイヤを早急に提示せよ!

一月十三日、JR千葉支社において「八九・三ダイ改」に関する団交が行なわれた。

団交の冒頭、JR東日本本社ですら「三月ダイヤ改正について」という表題で三月ダイヤ改を提案しているにもかかわらず、千葉支社は、またしても「三月新商品計画」なる名称で提案してきたことについて追及する。

そもそも、昨年の十二月ダイヤ改を「十二月新商品計画」なるフザケた「標題」で提案し、十二月ダイヤ改移行後わずか五日目に、東中野駅事故が発生しているのだ。「ダイ改」を、「ダイ改」という標題で提案せず「新商品計画」という名称で提案すること自体、現在のJRの「営利優先・安全無視」の体質を表わしている。

にもかかわらずである。しかも、当局は「東京圏運行本部は十八日の提案であつてそれよりも早い」と開き直り、「高崎、水戸では労働条件については提案されているが、千葉支社は東京との業務を精査しなければ労働条件を提示できない」「労働条件については、二月上旬に提案の予定だ」と逃げ回っているのである。

付けた焼刃的なダイ改計画は「重大事故」をまねく

そのことを徹底的に追及した後、「ダイ改」提案を受けた。しかし、提案内容そのものは、「概要」のみであつた。すでにダイ改移行まで二ヶ月を切るという時期にまで迫っている

ていたのである。われわれは、JRのこうした無謀な「ダイ改」計画を徹底的に弾劾しなくてはならない。

労働組合と充分な団交を行う時間すら取らずに「時間切れ」ダイ改強行というパターンで事をすまそうというJR当局の態度はありありと見えている。こうした不誠実な団交を許さず闘いぬこう

改時において、当局が労働条件を提示したのは十一月中旬であつた。ダイ改移行の直前である。しかも、労働千葉が団交内容を不服としてスト体制を確立したからこそ、ようやく重い腰を上げて提示したのであつた。

JR当局の不誠実な団交の姿勢に対し、労働千葉は、第五回支部代表者会議の確認を経て十八日には、労働省と中労委に

スト実施通告を行った。第二の東中野駅事故を断じて許さぬために、ストも辞さず闘いぬこう!

1/26	スト損害公判	13:15
28	労働学校	13:00
29	三里塚・千葉市集会 (千葉港公園)	
30	「日鉄法公判」「ヤ一上公判」「清算争業団公判」	
2/1	「木戸」地労委	
5	家族会総会	

動労西日本の旗開きが一月十五日十五時から、広島国労会館において約七〇名の地域の仲間を集めて盛大に開催された。岡崎青年部長の挨拶につづいて、井面委員長は、旗開きの前段に開催された右翼労働統一に反対する三・五広島県労働者集会第一回実行委員会の経過を報告し、三・五集会の成功のために全力を上げて奮闘する決意を明らかにした。つづいて、一年間の動労西日本での闘

行委員の司会で進められ得意の美声を披露するも、職場の報告や闘う決意表明など戦闘的雰囲気の中で和やかな交流が勝ちとられた。

連帯の挨拶  
全通の仲間、狭山共闘会議・阪本勇、広教組篠原久美子、国労共闘・富田、国労共闘・鷲見、動労西日本を支える会々長・松本明各氏他。